

SOWER

ソア＝種まく人

No.19

December 2001

財団法人

日本聖書協会

特集 日本を動かした聖書の力 三吉物語



新18 聖書の 世界

写真／文 横山 匡



アンティパトリス

エルサレムで捕えられたパウロが、カイサリアへ護送される途中、夜中に到着したシャロン平原の町がアンティパトリスです。古代から「海の道」に沿った重要な宿場町でした。

旧約聖書にはアフエクの名で登場します。ヨシユアが征服した町のリストに登場しますし、海の民ペリシテ人は内陸部への侵入の足場としました。アフエクとは河床、または要害という意味だそうです。ここにはテルアビブの北を流れるヤルコン川の水源地があります。

現在残っている遺跡には、十字軍時代の要塞あとにトルコによって作られた砦が見られます。水草が茂る遊水池から遺跡の付近にかけては広大な公園になっていて、休日になるとテルアビブとその周辺の町々から大勢の市民が家族連れで遊びに来ます。林の中の木陰にはバーベキューの煙がたなびき、芝生では子供たちが元気いっぱいに戯れています。

参照 使徒二十三章三十一節 ヨシユ十二章十八節
サム上四章一節、二十九章一節

最後まで耐え忍ぶ者は 救われます

(マタイ10章22節、24章13節)

聖書の中には、その時々ピッタリくる聖句が散在している。

21世紀に入った現在、地球上でさまざまな出来事が起きている。

局地的な戦争は絶えないものの、世界的に見ればそれなりの協力体制がしかれている。

それが逆に人口増加、食糧問題、エネルギー問題、そして環境問題などを起こしている。

しかし、何がどうなろうと慌てることはない。

2000年前に語られた言葉、「最後まで耐え忍ぶ者は救われます。」

何と力強い励ましであろうか。人の英知には限界がある。

すべてのことは神に祈り、神に^{ゆだ}委ねて、人の思いを捨てて生きたいものだ。

人間は弱い者だから、そして間違いを犯す者だから…。

神田啓治

京都大学大学院エネルギー科学研究科教授



表紙の言葉

スウェーデンの人々は12月を楽しみにしています。光の祭りルシア祭と、ユール（クリスマス）があります。ルシア祭では子供達が聖ルチアを歌いながらコーヒーやサフランパンをふるまいます。(月本佳代美)

CONTENTS

Sower
No.19
2001

特集—インタビュー—

2 日本を動かした聖書の力

三古物語

6 『音喜トリアスロン in 知多美浜 第二〇回大会開催
名古屋聖書普及講演会のご報告とご案内』

7 日本聖書協会二五五年史

朝の聖書通読やつてます！

Eメール 渡部 信

8 21世紀と聖書 市川康則

21世紀の教会と神学のために

10 エッセー¹⁸ 宇佐美節子
神の家にふさわしくあるように

12 人物と聖書 鈴木範久
内村鑑三と聖書

16 生前献金のお願い

17 『舊新約全書ⅠⅡ』
聖書図書館蔵書シリーズ—¹⁷

日本を動かした聖書の力 三吉物語

(さんきちものがたり)

愛知県美浜町長

齋藤宏一

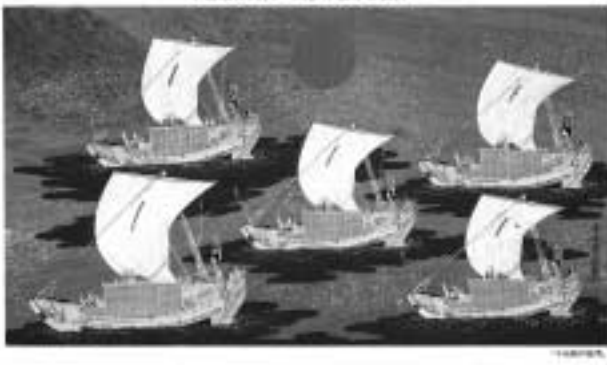
さいとう こういち

およそ170年前の江戸末期、聖書翻訳に従事した
3人の日本人がいました。

今回は彼らの出身地である愛知県知多郡美浜町の町長として、
3人の壮大な物語を日本、そして世界へ伝えようと尽力されている
齋藤宏一氏にお話を伺いました。

につぼん音吉漂流の記

千石船の時代 蘭多半島から世界へ



町おこしのため美浜町が制作したパンフレット

三人の日本人とは、今日、美浜町の人々から『三吉』と呼ばれ親しまれている、岩吉、久吉、音吉という船乗りです。彼らは嵐にあつて漂流し、各地を転々とした末に行き着いたマカオで、宣教師ギュッラフと出会い、現存する日本最古の聖書である『ギュッラフ訳』の翻訳に従事したのです。

ます。また三吉に関連するイベントとして、トライアスロン大会や町民参加のミュージカルも積極的に行われており、町の大きなイベントとして広く知られています。

——齋藤町長は特に音吉に熱い思いを寄せられていると伺いましたが、はじめに音吉との出会いをお聞かせください。

小野浦に頌徳記念碑がありますから、三吉には以前から関心がありました。特に音吉に対する関心が高まったのは、春名徹先生の著書『につぼん音吉漂流記』を読ませていただいたのが、そもそものきっかけです。

私が町長になった平成三年は、三吉の頌徳記念碑が建てられてからちょうど三〇周年に当たる年だったので、行事は『聖書と訳頌徳記念式典』だけで、ほかには何の計画もありませんでした。そこで、美浜町出身の音吉という素晴らしい人物をもっと知ってもらうために、その軌跡を紹介したパンフレットを作ったり、広報に音吉物語を掲載したり、歴史教室を開いたり、町おこしも念頭においた活動を開始したのです。

——現在、美浜町で催されているトライアスロン大会やミュージカルの公演なども、音吉にかかわるイベントでしたね？

そうです。トライアスロン大会は『につぼ

●三吉物語概要●

約170年前、小野浦を出港した宝順丸は嵐に遭遇し、1年余り漂流した後、アメリカ太平洋岸ケーブ・アラヴァに漂着した。この漂流生活で生き残ったのが『三吉』と呼ばれる、岩吉、久吉、音吉である。彼らは先住民マカ族に保護された後、イギリス船で各地を巡った末に、中国のマカオへとたどり着く。

このマカオで、ドイツ人宣教師カール・ギュツラフと出会い、『ヨハネによる福音書』『ヨハネの手紙』の和訳に協力したのである。

やがて三吉に帰国の途が開かれたが、乗船したモリソン号は浦賀沖で、砲撃を受けてしまう。夢を断たれマカオに戻った三吉は、今度は身を挺して日本の漂流民を援助し続けた。約20年の間に仲間は離れ離れになる中、音吉はイギリス軍艦で二度日本を訪れ、通訳ジョン・オトソンとして日英交渉にも尽力した。その後、音吉はマレー人と結婚しシンガポールへ移住。日本初の遣欧使節団が寄留した際にはその宿舎を訪ね、福沢諭吉に当時の国際情勢を伝えている。1867年、「いつか自分の代わりに日本へ帰るように」と息子に遺言し、音吉はその数奇な人生の幕を下ろした。



ギュツラフ訳
『ヨハネによる福音書』



嘉永2年浦賀へ
来た通訳 音吉



ん音吉トライアスロンin知多美浜』といった、美浜町から発信するイベント第一号となったものです。音吉の名を付けたのは、第一回大会を開催した一九九二年が、音吉の漂流からちょうど一六〇年だったこと、どちらも海に関係しているうえ、その過酷さなどに共通する面があると考えたからです。

開催時にはトライアスロン協会やマスコミが外に向けて情報発信してくれるので、多くの人に美浜町や音吉のことを覚えていただけるいい機会になっており、第一〇回を迎えた今年も、盛大に行うことができました。

一方、ミュージカルは『音楽劇—につぼん

音吉物語』といって、劇団シアターウィークエンドのプロデューサーから、音吉を主人公にした町民参加型ミュージカルを作らないかという話がきたのがきっかけで、最初のトライアスロン大会開催の翌年七月に、約五〇名の町民が参加して第一回公演を行いました。

この年には音吉ゆかりの地シンガポールへの視察があり、その際にミュージカルをやりたいと働きかけたところ、翌年に第一回『草の根国際交流』として初の海外公演が実現しました。今も国内はもちろん、シンガポール、アメリカなど、音吉とかかわりの深い国々での公演を続けており、今年はイギリスでも上演しました。

——国際交流の面では、音吉たちの漂着地に
住むアメリカ先住民のマカ族とも交流を続け
ていらつしやると聞きました……。――

ええ。マカ族とは主にインターネットを介した交流を続けています。アメリカに漂着した音吉たちを保護してくれたことに感謝し、お礼をするために訪問したのが始まりです。

この訪問の際には、宝順丸が持ち込んだとされる陶器の破片を資料館に見に行ったのですが、後日実物を借り、瀬戸陶磁資料館で鑑定したところ、間違いなく当時の瀬戸物だと判明しました。記録でもマカ族のもとに漂着したのは宝順丸だけとあるので、鑑定結果は、音吉たちの船が漂着したのはフラッター岬



「日英草の根国際交流 Japan2001」におけるパフォーマンス



音吉漂流地図

ではなく、ケープ・アラヴァだったことを確認できる貴重な発見となりました。

——ところで、音吉たちが聖書の翻訳に従事したことに關してはどう思われていますか？

とにかく素晴らしい仕事をされたと思っています。音吉たちはマカオで宣教師ギョッラ

フの聖書訳に協力したわけですが、それ以前にフォート・バンクーバーの学校で英語を勉強した記録はあるものの、彼らの使う日本語は方言だったはずなので、翻訳の際に「カシコイモノゴザル」と発想できたことを考えただけでも感服します。春名先生は著書で、特に貢献したのは岩吉と述べられていますが、私は貢献者は音吉だったと思っています。

その理由として、当時のイギリスの新聞に、音吉がスターリング艦隊と共に日本へ赴いた際、イギリス人の通訳に、日本の仏教、儒教、神道の由来やその発達の経緯を詳細に説明したという記事が載っていることがあげられます。また、小説家の吉村昭さんから「音吉たちがローマ字と日本語で書いた手紙がイギリスにあるが、すべて音吉の筆跡」と伺ったこともそうです。この手紙は後日、私も見ましたが、やはり音吉の筆跡のように思えました。こうした事柄から、当時の日本の寺子屋教育のレベルの高さや、音吉がそこで十分な知識を習得したことが推察できます。

音吉は三人の中でいちばん若かったので、適応性が最も高かったともいえますが、さまざまな記録からも、能力的に優れていたのは音吉ではなかったかと思うのです。

——二十一世紀はグローバル化の時代といわれていますが、諸外国の人々と付き合っている際に、音吉から何を学ぶべきでしょうか。

私は、国際交流を進める中で大事なことは、まず自国とその文化を正しく理解すること、そして日本人としての誇りをもって諸外国の人々と付き合うことだと考えていますので、こうした点からも、音吉の姿には見習うべきところが多いと思います。

音吉は外国でも堂々と日本の服装をしていたようだし、同じく漂流民となった日本人を



『にっぽん音吉漂流記』

春名 徹

発行：品文社

定価：1,301円＋税

約170年前、中国のマカオで、ドイツ人宣教師と共に聖書の翻訳に従事した三人の日本人。その一人、山本乙吉（音吉）の生涯の軌跡が、膨大な史料に基づいて忠実に描かれた珠玉の一冊。第11回大宅壮一ノンフィクション賞受賞作。お求めは全国の書店へ。



『百姓の見たソ連 三訂版』

齋藤 宏一

発行：日本農業経営者連盟

定価：2,000円（税込み）

昭和56年、日本農業経営者連盟の訪ソチームが、ソ連（現ロシア）の食糧生産の実態を調査した際の調査結果や提言をまとめた報告書。齋藤宏一美浜町長が、同連盟の事務局長時代に執筆したもので、当時のソ連の様子が鋭くまた温かい視線で描かれており、外国旅行記としても興味深く読める一冊。お求めについては愛知県知多郡美浜町役場へ。

★美浜町役場

TEL:0569-82-1111 (代)

<http://www.town.mihama.aichi.jp/>

—— 本日はたいへん興味深いお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。

さらに長期の展望として、世界の漂流記念館的な施設の建設プランもあります。いずれも息の長い仕事ですが、地道に仲間を増やし実現させていきたいと考えています。

このほかには、音吉の終焉の地シンガポールの日本人墓地に記念碑を建てる計画も進めていますし、歴史教科書に音吉たちの功績を記載するための働きかけも続けています。今年の新しい歴史教科書の中には、内海や小野浦を基点とする江戸時代の千石船・内海船のことや、モリソン号事件と乗船者の中に七人の日本人漂流民がいたことを記述したものもあるのですが、音吉のことが載るのもあと一歩だと思っています。

そうですね。音吉は早い時期にクリスチャンになっていましたので、もちろん聖書の影響を受けていたと考えられます。それから音

—— 今のお話にもあったような音吉のさまざまな働きは、聖書の力によって支えられていたと思われるのですが……。

預かり、手を尽くして日本へ帰してあげている。息子には日本へ行きなさいと遺言までしている。国家間の交流さえままならなかったあの時代に、外国に住むことを余儀なくされたとしても、音吉は最後まで日本を誇りに思っていたのです。本当に立派だったと思います。

吉が日本の心を持ち続けていたことも忘れられません。つまり音吉の働きは、聖書の力と同胞愛に支えられていたのではないかと思うのです。そうでなければ、日本に見切られた人間が、あれほどまで日本に情けをかけられるわけがないですから。

音吉は、福沢諭吉らの遣欧使節団がシンガポールに寄留した際、わざわざ訪ねて行き、アヘン戦争の経過や太平天国の乱をはじめ、彼が知りえていた当時のあらゆる情報を伝えていますが、これは聖書の力に支えられ日本を思い続けた音吉だからこそできた日本への警鐘ではないかと、私は思っています。

—— 最後に今後の展望として、音吉にかかわる取り組みについてお聞かせください。

まずは息の長い国際交流として、ホームステイの受け入れ態勢を強化すること。すでにイギリス、シンガポールなどから子どもたちを受け入れているし、今後はこちらからも子どもたちをどんどん行かせたい。マカ族からも、来年はまた学生を送りたいとのメッセーじが届いています。新国際空港もじきに開港するので、空港にいちばん近い町、世界の人たちを受け入れるホームステイ宣言の町としての体制を整えていこうと思っています。

『にっぽん音吉トライアスロン in 知多美浜』 第二〇回大会開催

八月一九日、愛知県美浜町で夏恒例のトライアスロン大会が盛大に行われ、日本聖書協会からも優勝者に「ビブロス賞」を贈りました。

『にっぽん音吉トライアスロン in 知多美浜』は、同町出身の船乗り音吉たちが太平洋上を漂流してから、ちょうど一六〇年目にあたる一九九二年から始まりました。「にっぽん音吉」と冠したのは、アメリカ力漂着後の音吉の功績の数々を、より多くの人々に伝えたいという思いからだそうです。



ゴールする選手

り、今年は全国から集まった男女四六一名が出場。台風の影響が心配されていたものの、絶好のトライアスロン日和となり、水泳、自転車、長距離走の計五一・五kmのコースを舞台に、鉄人たちの熱い戦いが繰り広げられ、大勢の人たちが声援を送っていました。

四時間の制限時間内にゴールしたのは四五一名。男子はケガを押して出場した山本淳一選手（二十七歳／総合記録二時間一分〇九秒）が優勝。また女子は中川絵理選手（二〇歳／同二時間九分三一秒）が、昨年に続いての大会二連覇を果たしました。

日本聖書協会では第一〇回の今回より賞を贈呈することとなり、渡部信総主事より優勝者に、ギュッラフの聖書と訳に協力した三吉にちなんで作られた聖書の賞「*ビブロス賞」が手渡されました。

*「ビブロス」とはフェニキア語の「書物」を意味する言葉で、英語の「バイブル」はこの言葉に由来しています。

名古屋聖書普及講演会のご報告とご案内

日本聖書協会では聖書普及活動の広報の一環として、聖書普及講演会を開催しています。今回は山内一郎関西学院長を迎えて行われた『名古屋聖書普及講演会』を中心にお伝えします。



講演会のようす

『名古屋聖書普及講演会』は、愛知県知多郡美浜町において、第四〇回「聖書と訳領徳碑記念式典」が行われた翌日、一〇月十二日に開かれました。

大勢の方にお集まりいただいた中、渡部信総主事の挨拶、開会礼拝（名古屋キリスト教協議会議長・池田巍義牧師）に続いて、「聖書が今、語りかけるもの」と題して、関西学院長の山内一郎氏の講演会が行われました。不安に満ちた時代に、聖書の喜びにあふれつついかに生きべきかを、J・ウェスレーや学院創立者ランバスの言動を引いて、熱く訴える同氏のお話に、参加した皆さんは、真剣に耳を傾けられていました。

○ご案内

聖書普及講演会は、キリスト教に造詣の深い方々を講師にお迎えして、聖書を通してご教示をいただくとともに、聖書の果たすべき役割や、キリスト教会と聖書普及活動に期待される課題などについて活発な意見交換をしながら、参加者の皆様の交流を深めていただく場として開いています。

来年も大阪、東京、名古屋ほか各地で開催する予定です。参加費無料。どなたでもご参加いただけるアットホームな集いですので、ご関心を持たれた方は、お気軽にお問い合わせください。

聖書協会のルーツを辿る

『日本聖書協会125年史』



●サイズ/頁数	●仕様	●頒布価格
A5判 160ページ	ハードカバー ケース入り	1,000円 (税込/+送料390円)

日本での聖書普及活動は1875年に始まり、2000年には事業開始125年を迎えた。

本書『日本聖書協会125年史』には、戦前・戦後の聖書普及活動の史実が豊富な写真と共に詳細に記されている。日本における聖書翻訳の経緯を聖書協会の観点から見ることのできる格好の1冊！

日本聖書協会では、毎朝、職員の有志で聖書全巻通読を行っています。始業前の朝8時30分から20分間で、1日2〜3章と少しずつしか進みませんが、みんな朝の爽やかな空気の中で神様のみ言葉に元気づけられるひと時を持っています。今年8月末、聖書66巻を1年と5カ月かけて読み通しました（2000年4月3日〜2001年8月29日）。今度は「旧約続編つき」に挑戦と今、再通読中です。皆様のご家庭や職場、学校などでも始めてみませんか。

朝の聖書通読やってます！



聖書協会会議室にて

BS NEWS

今年の4月にレバノン聖書協会で会議がありベイルートに出かけました。レバノンは10年前まで、イスラム教徒とキリスト教徒とが反目し合い内戦状態が長い間続きましたが、今では双方和解し、市内の日常生活は正常化されておりました。そして町の建物のあちこちに今でもそのときの銃弾の跡を見ることができます。今、レバノンへはパスポートにイスラエルの入国記録があると入国できませんが、ここにユダヤ人との対立がいまだに見られます。

レバノンといえば聖書に出てくるレバノン杉がすぐ思い出されるでしょう。その樹齢はなんと千年以上もあり、今は乱伐採で一部の地域しか残っていないということです。ちなみにレバノンの国旗にはこのレバノン杉が描かれています。

Eメール

平和をめざして レバノンの聖書頒布

渡部 信

わたべ まこと
日本聖書協会総主事

さて、首都ベイルートの北30kmぐらいのところに「ビブロス」という町があるのですが、この町の名前こそバイブルの語源となった言葉です。昔、フェニキア人が最初にアルファベットをこの付近で考案し使い始め、これが英語のバイブルという言葉になりました。いかに古い歴史を持った国なのかとただ驚くばかりであります。レバノン南方へ出かけてイスラエルのをぞくと、ちょうどその先がガリラヤ湖となり、レバノンからイスラエルへはパスポートを見せれば簡単に入国できるそ

うです。その国境線には国連軍の警備兵が警護しておりますが、対イスラエルとの紛争はほとんどなくなった現在、イスラエルの方が胸襟を開いて待っているという感じです。つまりイスラエルにはレバノンの入国記録があってもOKということです。

このレバノンのベイルートの地に聖書協会が置かれているその存在意義は大きく、話によりますとイスラム諸国に頒布するアラビア語聖書のほとんどがここで製作・出版されているということです。このように世界の政治、歴史、地理、宗教の違いや対立をくぐりぬけながらも、すべての人々に神のみ言葉である聖書を届ける努力が、今もこうしてこの地でもなされていることに、神様の御手を感じざるを得ませんでした。

21世紀の教会と神学のために

宣教的関心から

市川康則

いちかわ やすのり

神戸改革派神学校教授



二十一世紀の最初の年もやがて終わろうとしているが、この新世紀がどういう時代になるのか、日本社会がどういう方向に進むのか、見当がつかない。したがって、我々がここでいかにキリスト教信仰に生き、教会形成と福音宣教をなすべきか、予測できないというのが主観的には正直なところである。しかし、世界大の視点から要約的

に言えば、二十一世紀に取り組まねばならない課題の一つは、全世界化（グローバルイゼーション）と地域個別化（リージョナライゼーション）の関係、哲学（史的に言えば「普遍と個」の問題である。キリスト教に即して言い換えれば、キリストの福音の唯一性・普遍性とその宣教の「文脈化」との関係が我々にとって最重要課題の一つとなる。

キリスト教は二十世紀間に、パレスチナに発祥し、ギリシア・ローマ世界に入り、そこから北上し、ヨーロッパ社会を形成し、海を渡ってアメリカ大陸、およびアジア・アフリカ大陸に入ってしまった。福音の世界宣教は西欧諸教会・宣教団に負うところ大であるが、しかしその反面、その過程で福音宣教と欧米文化化とが軌を一にし、西欧諸国による非西欧諸国の植民地化もまた進んでいったことは周知のとおりである。し

かし、第二次大戦後の一世代ほどの間にアジア・アフリカ諸国は独立し、第三世界の宗教と文化への新たな評価・尊敬が生まれ、それと裏腹にキリスト教宗教が相対化されていった。

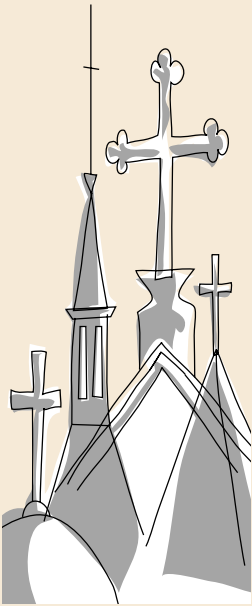
こうした中で福音宣教の「文脈化」（文化適合）が西欧・北米教会と神学者によって叫ばれ、第三世界の教会と神学者もまたこれに呼応したわけである。文脈化はかつてキリスト教の「土着化」や「順応」の企図の背後にあった思想（欧米中心的文明史観への批判・反動により引き起こされた。唯一、普遍的な福音を、この日本という特定脈絡に――長い歴史の中ではぐくまれてきた宗教的文化的脈絡に――どのように受肉させられるかが、我々の恒久的かつ緊急の課題である。

今後必要なことは無数にあるが、一つには、キリスト教伝播の歴史と、それが定着した社会の変遷の歴史とを知ることが急務である。ただ教会史というだけでなく、キリスト教伝播史、その観点からみた諸国・諸地域の（広義の）社会的変化の歴史の研究である。これは特に、教義形成過程とその経緯を知るうえで、したがって逆に、教義・信条の歴史的制約をわきまえるため

に、しかし同時に、歴史的継承と変遷の中にある一定の連続性・共通性を、その限りでの普遍性を洞察するために不可欠な作業である。

我々はまた、特に日本の古来の宗教諸伝統とそれらが社会で果たした役割とをよく研究すべきである。それは、現在の日本を歴史的に知るためである。例えば、古代社会の支配的な宗教的、政治的思想とその変遷を知ることにより、現在の日本社会のそれがどれほど過去から遠いか、あるいはそれに近いかを正しく理解しうる。この点の確な認識を得てこそ、キリスト教の有効な対峙や、教会形成における日本の特徴の活用も可能となり、それによる地域社会への貢献の道も開けよう。

しかし、我々は同時に、福音宣教の文脈化の議論がキリスト教世界(WCC「第三次神学教育基金任務綱領」および使徒的勧告「カテケシ・トラデンダエ」)から出てき



たことを常に覚えておくべきである。近代宣教の弊害に対する欧米教会と神学者・宣教師の真摯な自己反省、および第三世界の教会に対する福音宣教の真の貢献の願いが、文脈化論の大きな動機であった。このような反省と真の貢献の願いは実に福音的であり、福音に与っていることの実りでさえある。かかる背景や意図についての自覚のない文脈化論は、欧米中心の世界観・歴史観に基づく宣教理解と方策への単なる反動となり、そのようなキリスト教伝達は福音の「宣教」(証言、告知)ではなく、福音の妥協、既存諸思想との習合、日本的文脈への解消と墮するであろう。それは一時的に人々に歓迎され、社会に浸透、定着するかも知れないが、結果的には日本的宗教に絡め取られるであろう。

我々はまた、キリスト教信仰を一定の世界観(政治・学問・歴史等々を含むトータルな見方)として受け取る思考と生活の訓練を自らに課することが重要である。キリスト教を個人の内面の次元にとどめず、復活のキリストが「天下国家」の事柄にもかかわられることを大胆に証言しなければならぬ。戦前、これができなかったのである。このためにもキリスト教が欧米社会でいかにその役割を果たしてきたかを考察す

ることが必要である。

キリスト教は優れて「言葉」の宗教といわれるが、教会が二十一世紀に日本で生き残れるとすれば、それは一に神の言葉を自ら聞き、そしてそれを語り続ける以外にはない。世界大の教会史を振り返れば、個々の教会・教派の消長を内包しつつ、キリストの一つの体なる教会は今に至るまで厳然と存在している(歴史の中に現われ、消えていった個々の教会は、その時々によりの一つの普遍教会の存立に貢献してきたのである)。使徒言行録は、言わばオーブン・エンディングであるが、それは優れて聖靈言行録、したがって世の終わりまで続く「教会(信徒)言行録」でもある。我々もこれに「書き込み」をし、ページを重ねているわけである。世界の諸教会は、最初の異邦人教会、アンティオキア教会の歴史的自己増殖過程にある。そして、この自己増殖的自己形成は恒久的なエルサレム母教会に、すなわちそれが象徴する使徒的証言に基礎づけられている。日本の教会も世々の教会と共に、使徒的証言に基礎づけられ、使徒的信仰(教理)・使徒的務め(礼拝と宣教)・使徒的組織(聖書の長老統治)を発展的に継承することを通してのみ存続しうるのである。



松山ペテル病院で患者さんと過ごす楽しいクリスマス

神の家にふさわしくあるように 宇佐美節子

医療法人聖愛会松山ペテル病院は、1982年4月開設以来、キリスト教を土台にしてその運営がなされてきました。全室個室20床のホスピス病棟は、昨年4月にスタートいたしました。ホスピスとは、主に末期の悪性腫瘍（ガン）などの患者さんが、残された貴重な時間を、肉体的・精神的・社会的・霊的な苦痛を緩和することによって、その人らしく生き抜いていただくための営みです。ホスピス・ケアは、チーム・ケアが原則で、医師、看護婦、その他の職種が協力して患者さんとご家族を支援します。

病棟がスタートしてからこの間、私たちはたくさんの方の患者さんを天に送りました。患者さんを囲んでご家族やスタッフと病室で、あるときはチャペルで聖書を読み、讃美歌を唱い、祈りをもってお送りしています。

ペテル病院に入院して初めて、キリストの福音に接する患者さんにチャプレンとして適切に神の言葉である聖書を伝えるために試行錯誤の毎日です。死にゆく患者さんの心の叫びや魂の痛みに、どのように応えたらよいのか、聖書の言葉をどのようにわかりやすく伝えるかが、いつも私に問われています。すべての患者さんが、キリスト教や聖書の言葉に関心を持つとは限りませんが、最終的に死に向き合う過程で力になるのは、生きた神の言葉であると実感させられています。何気ない会話の中から、キリスト教との接点を見だし、求める心を持つ方もおられます。ひとりひとりの霊的ニードが異なるので困難を覚えます。自分の無力をいつも感じますが、たくさんの方に助けられ、聖書の言葉に支えられて日々、歩んでいきたいと願っています。

毎週2回、火曜日の朝と日曜日の夕方の礼拝が、市内の超教派の牧師の協力によってチャペルで守られています。月に2回第2、第4木曜日のペテル祈禱会には、患者さんとそのご家族やボランティア、スタッフで輪になって祈りを合わせています。

ある60代の男性の患者さんは、礼拝や祈禱会に出席するうちに、キリスト教は未来を語るから、心のよりどころになると語りました。チャペルで共に祈るとき、神が傍らにいて、励ましと慰めを与えてく

ださることを実感したものでした。亡くなる2日前にも苦しい息の中、礼拝に出席されたお姿を忘れることはできません。神の言葉が生きて働くことを深く思わされたことでした。

70代の女性のある患者さんは、若い日に、東京の教会で聖書研究会に出席した経験のある方でした。何度かこの患者さんを訪問してくださったN牧師が、この女性の亡くなるその日に、聖書を開いて祈ったとき、牧師の後に続いて聖書のみ言葉をか細いけれどもしっかりした声で復唱されました。「安心しなさい。わたしだ。恐れることはない。」(マタイによる福音書一四・二七)。私は、このときほど聖書の言葉が力強く迫ってきたことはありませんでした。さらに、昨年のクリスマスまでにお二人の患者さんが洗礼の恵みに与ったことも感謝でした。

今年、満百歳をお迎えになられた患者さんが、ホスピス病棟で療養を続けておられます。俳句をたしなむこの方から、人生の先輩としての生きる知恵やこれまでの歩みを語っていただくと、だれもがこのように年齢を重ねたいと思わされます。

たとえ、信仰は異なっても患者さんを訪問するとき、私は祈る思いでお話をしています。それぞれのこれまで生きてきた背景や価値観の違いを、語り合うことによって教えられ、こちらが励まされることも度々です。そのとき、おひとりおひとりの人生が神によって、かけがえないものとして祝福されたものであることを知らされます。

すべての患者さんにとって、ホスピスの環境が快適であるように、医療スタッフはさまざまな工夫を凝らします。毎日のように、ケースカンファレンスをしてより適切なケアができるように努力を惜しみません。患者さんの声に応えて、トイレの便器にスポンジのマットを巻いて柔らかくしたり、患者さんやご家族、スタッフとの写真をレイアウトしてお部屋に飾ったりとそれぞれの個性を発揮しています。患者さんのお誕生日には、手作りのカードにお祝いの言葉を添えて皆で祝います。

ホスピス病棟では、患者さんの生活の質を高めるために、音楽療法やレクリエーションを定期的に行います。4月のお花見に始まり、節句、七夕、夏祭り、お月見、秋祭り、クリスマス、お正月、雛祭りと季節感を大事にしながら、皆で楽しめます。積極的にボランティアとしてこの活動に参加して支える人たちがあってこそ、この働きが継続されていることと私たちは、感謝しています。また、たくさんの教会の祈りのご支援があることも私たちを励ましています。

松山ベテル病院が神の家にふさわしく、訪れる方の憩いの場になるように、主の平安に満たされ、慰めが満ちあふれる病院となるように願っています。



宇佐美節子 (うさみ せつこ)

医療法人 聖愛会 松山ベテル病院 チャプレン

新世紀にかける希望

内村鑑三と聖書

鈴木範久

すずきのりひさ 立教大学教授

聖書との出会い

内村鑑三は少年時代に高崎の英学校で学んだ。その英学校では、後に内村の愛読するギョー (Arnold Guyot) の地理書が使用されていた。ギョーは地理に神の摂理を読み取ろうとした地理学者である。内村は、知らぬ間にキリスト教思想に接していたのだが、当時は知るよしもなかった。

まもなく少年内村は、単身上京して有馬私学校に入る。その学校の教師であるイギリス人女性から『新約聖書物語』一冊をもらい、そこで初めて「ジーザスクライスト」の名に接する。同校ではウィルソンのリーダーが用いられていた。その第三リーダーには旧約の聖書物語、第四リーダーには新約の聖書物語が登場する。やがて内村は級友と築地のユニオン教会に通い始める。

これまでの内村と聖書との関係は、文明開化の時代に生きた他の青少年と変わるものではない。ところが一八七七年、札幌農学校へ入学したことにより事情は一変する。新入生全員に、クラークが用意していた聖書が与えられたのである。クラークはすでに帰国していたが、その求めた聖書は、一期生と共に内村鑑三、新渡戸（当時太田

聖書の人

日本人の中で、もっとも「聖書の人」にふさわしい人物をあげるとしたら、私はためらわず内村鑑三をあげる。聖書研究会の開催と『聖書之研究』の刊行を一生の仕事として、量的のみならず質的にも広く深い影響を日本人に与えた人物は、ほかにない。内村以前、西洋人により聖書は無料で教えらるるものとされていた。それを内村は、日本で初めて金銭を取って聖書を教えることを始めた。内村自身、それに自信はなかった。しかし、ついに毎週開かれる聖書研

究会は、会費の徴収があるにもかかわらず広い会場は聴衆で満ちあふれた。

『聖書之研究』も同じである。そんな雑誌の刊行で採算がとれるとは、だれも信じなかった。しかし、ある牧師は語っている。牧師たちの研修会を開催したところ、休憩になると思い思いに読書を始めた。彼らが、カバンから取り出す書物をみていると、なんと、言い合わせたように無教会主義者内村が発行する『聖書之研究』であった。

同誌の刊行は、一九〇〇年から世を去るまでの三〇年間にわたり継続され、常に数千部の刊行部数を維持した。

姓 稲造ら二期生にもあてがわれた。

札幌農学校で入信した内村たちにとり、聖書は信仰生活の中心になった。なぜなら当時、宣教師はいずれも函館から巡回して訪問するだけだった。そのため信仰生活は信徒により営まれ、頼るべきものは聖書のみだった。内村と聖書との本格的な出会いである。ここに内村の後年のキリスト教が、宣教師にも教派にもよらず、もっぱら聖書

による原点がある。

愛読の聖書

クラークが残した聖書はいわゆる「欽定訳(AV)」のThe Holy Bibleである。内村は、後に東京でも一冊の英訳聖書を購入(一八八三年)、アメリカ滞在中も愛用した。例の名高い墓碑銘、

I for Japan ;

Japan for the World ;

The World for Christ ;

And All for God.

の書き込まれた聖書である。当時の内村の引用した聖句の文章から推して、これまた「欽定訳」とみられる。しかし残念ながら、その所在は不明である。なお「改正英訳(RV)」については、内村の著書『求安録』(一八九三年)で言及されている。初期の日本語訳聖書の言葉は、札幌時代の一八八二、三年に書き

留められた「ノート」に見いだされる。それをみると、一部の漢字を仮名表記に改めている以外は、完成されたばかりの翻訳委員社中訳の新約聖書を用いている。内村は後に聖書の改訳にも従い、独自の訳文を試みることもあったが、基本的には翻訳委員社中訳を使った。

札幌農学校を卒業後、内村は開拓使(後、札幌県)に就職、水産を担当した。一八八二年一〇月、役所に提出した報告書の中で、パウロの言葉として「無律法罪乃死」とのロマ書七章八節の聖句を引く。日本の役人の公文書において、聖書の言葉の記された最初と内村は回顧する。これは、ブリッジマン・カルバートソン訳の漢訳聖書である。ギリシア語聖書の使用は、著書『基督教徒の慰』にマルコ伝一章一二節のギリシア語原文の引用のあることわかる。この例を最初として常に参考にしていく。

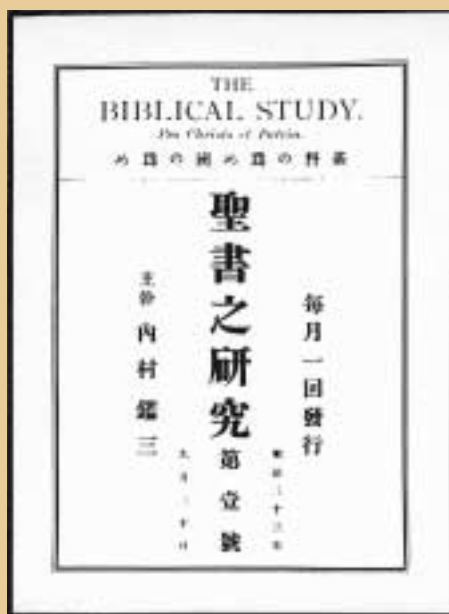
若き日と聖書

内村鑑三の全集でみられるように、その著作は、そのまま聖書の研究である。その全部を見る代わり、まず、青年時代と聖書との関係を取り上げよう。札幌時代に始まり、前述の『基督教徒の慰』、『求安録』を

アマスト大学時代の内村鑑三



クラークが札幌農学校生に与えた聖書



『聖書の研究』創刊号表紙

世記に次いでイザヤ書、エレミヤ記などの預言書が際立つ。

もう少し詳しくみよう。これを内村の渡米前と渡米後の、いわゆる「回心」の前後に分けると、前者では「すべて人にせられんとおもふことは、なんぢまた人にもそのごとくせよ」（マタイ七・一二）というような倫理的な聖句がみられる。これに対し、後者では、「ああわれなやめる人なるかな」（ロマ七・二四）との罪の苦悩と共に、「福音が「ただイエスキリスト」により示されたこと（コリント前一・二七）への変化がみら

れる。これは、そのまま引用の多寡にも反映する。

帰国後の一八八四年、内村が親友の宮部金吾にあてた英文の手紙の中に、興味深い聖書の引用がある。それは「主の祈り」のところで、日本語訳では「我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく我らの罪をもゆるしたまへ」（マタイ六・一二）の部分である。ここは「欽定訳」の英訳聖書では、す

7—イザヤ書
8—ガラテヤ書
9—詩篇
10—エレミヤ記

ここには、いくつかの特徴がみられる。

第一に、新約聖書ではマタイ伝、ロマ書が目立っている。また、省略したが福音書のみならず、ほとんど新約聖書の各所にわたっている点である。第二には、新約聖書だけでなく旧約聖書もよく読まれている。創

はじめ、英文の『余はいかにしてキリスト信徒となりしか』、同じく『日本及び日本人（代表的日本人）』という名著の書かれた時期までとする。

この間、内村が最も多く引用しているところを、順に一〇位まで示すと、

1—マタイ伝
2—創世記
3—ロマ書
4—ルカ伝
5—ヨハネ伝
6—コリント書

べて一人称複数が使われている。ところが内村は、いずれも一人称単数に変えて引用する。内村がことさらに単数にしたのはなぜか。内村にとり罪とそのゆるしとは、何にもまして自己自身の切実な体験であったからだろう。

聖書と歴史と天然

内村の長く愛用した聖書には、先にあげ

た言葉とあわせ、「真理を証する三者」として、「自然 (Nature)」と「人間 (Man)」と「聖書 (Bible)」の三者が記入されていた。これらは、互いに他の二者を欠くことのできない三位一体であるという。

この言葉は、一八八五年、アメリカで記されたが、『聖書之研究』最終号 (三五七号、一九三〇年) に収められた遺稿の中で、内村は「聖書は一書でない三書である。聖書と天然と歴史である」と述べている。ここの「歴史」と先の「人間」とは同一とみてよい。

内村にとり聖書は、必ずしも文字で書かれた書物だけではなかった。聖書に「天然」と「歴史」とを解くカギがあると同じく、「天然」と「歴史」からも聖書の言葉を聞くことができる。とみた。

一九二二年、内村はロマ書の連続講演において、宇宙もまた、人間と共に救済を求めてうめき声を発していると語った。ここでは、初期にみられたような美しいだけの自然観は影を潜めている。このころ上野へ花見に出かけた内村は、煤煙で枯れた桜の老樹を見て近代文明をのろった。とても花見気分になれず早々と帰宅した。

内村は聖書により、植物も動物も宇宙全体が共同体をなしていること、人間の自己

中心性に対し、共にうめき声を発していることを読み、その警報をすでに八〇年前に出していたのである。「自然との共生」や環境問題のいち早い指摘は、「聖書の人・内村鑑三」により口火を切られていたといつてよい。

「天然」とならび、「歴史」に神の「聖意」を読み取ること、国家の興亡盛衰のうちに「聖意」は現れていること、これも内村は早くから説いていた。今の日本には、その「歴史」に目を閉ざそうとする動きがある。日本の「歴史」も、「天然」同様にうめき声を高めている。

八〇年前、内村の聖書研究会において、このロマ書講義を聞いた一人の青年は、身体が「靈潮」のただ中に投ぜられたような感動を覚えた。そして「天地」の見方に一大革新のもたらされたことを、次のように述べている。

……講演終り、場外に出て見れば、見よ天地は一変している、ああ我等のために叩いてくれている大母体よ!。一本一本の樹々に対しても、親愛の情は湧いて止まぬ。感謝溢れ、歓喜漲り、希望満々と輝く。……



書斎で 1909年 (明治42年)

国内と国外の聖書普及活動のために「生前献金」を

私たち主の救いの恵みに与った者として、最も有意義な献金は何でしょうか。この社会の中にはさまざまな企業活動がありますが、その中で、神様は必要とされる方法で、またご自身がご用意されるお金でその業を起こされようとしております。それは民族を超え、人種を超え、世界のいたるところに聖書のみ言葉をお届けする働き、あるいは、子々孫々に至るまで、み言葉を継承してゆく働きです。このようなクリスチャンにとって大切な聖書普及活動を継続してゆくために、皆さまの最も有意義な献金の使いみちとして「生前献金」をご提唱申し上げます。

●天に召される前に、神様に喜ばれ、その生きた業が主の証となり、また主の恵みをこの目で見ながら、その祝福を

その手で体験しつつ、主のご臨在を待ち望む素晴らしい献金です。

●ご本人のご意志のみで、何の法的手続きも必要としない無駄のない生きた献金です。

●財団法人日本聖書協会は、聖書普及を主たる活動目的とする教派を超えた公益法人です。ので、皆さまのご意志になった献金として「生前献金」を有意義な形で確実に運用することをお約束いたします。

●聖書協会は、過去200年間にわたり、世界各国で聖書普及活動に従事してまいりました。財団法人日本聖書協会は、聖書協会世界連盟（加盟140カ国）のメンバーとして、文語訳聖書、口語訳聖書、新共同訳聖書を発行し、設立以来125年にわたり、一貫して聖

書の翻訳・製作・頒布を行っています。

皆様の「生前献金」はこのように国内のみならず、全世界の海外聖書製作、頒布活動のためにも用いられます。ご関心とご意志をお持ちの方は、財団法人日本聖書協会募金部までご連絡くださいますよう、お願いいたします。



日本聖書協会(募金部)

TEL. 03-3567-1980
FAX. 03-3567-4436
E-mail: fund-raising@bible.or.jp
郵便振替口座: 00160-2-18410
銀行振込口座: 三井住友銀行京橋支店
(普) 6552744
インターネット献金: <http://www.bible.or.jp>

Request for Leaving Your Legacy

編集後記

現在、世界は大きな対立の渦に巻き込まれようとしています。こうした中で、私たち日本人のキリスト者はどのような態度で事態を認識し、行動すればよいのでしょうか。

今号では、世界の危機的な状況の見方について巻頭聖句に触れられていますが、これは神様が、すべての事態に際して、初心にかえって謙遜を失ってはならないと警告されているように思われてなりません。また、聖書の力が一人の日本人を動かす、日本のその後の歴史に大きな影響を与えたこと、さらに内村鑑三という日本を代表する偉大なキリスト者が当時の現実をどう把握し、行動したか、そして、現在の日本において聖書のみ言葉はどういう形で活かし出されており、今後活かす出されねばならないかを学びたいと考え、さまざまな分野で活躍中の方々に執筆をお願いしました。

「わたしは道であり、真理であり、命である。」先が見えない今こそ、私たちはこの言葉の意味深さをヒシヒシと感じさせられます。(M)

◆ SOWER は日本聖書協会後援会の会員誌です。本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください。お葉書、Eメールなどでお受けいたします。

Eメール・アドレス: info@bible.or.jp

● ソア 第19号 DECEMBER 2001
発行 財団法人 日本聖書協会
〒104-0061

東京都中央区銀座四丁目5-1
電話 03-3567-1988

FAX 03-3567-4451

ホームページ: <http://www.bible.or.jp>

振替 001600218410

表紙イラストレーション 日本佳代美

デザイン 株式会社デザインコンビリア
印刷 文唱堂印刷株式会社

舊新約全書 I II

横浜 北英国聖書会社
1887 (明治20) 年刊
縦：19cm 横：13cm

新約聖書は1872年の第1回宣教師会議で共同翻訳が決議され、各教派から選ばれた7人の委員で「翻訳委員社中」を組織し、1874年から訳業を開始。ヘボン、S.R.ブラウン、グリーンを中心に奥野昌綱、松山高吉、高橋五郎が協力した。順次分冊で出版し1880年「新約全書」として出版。旧約聖書は、1876年東京在住の各派宣教師が「東京聖書翻訳委員会」を組織し、その後1878年新約聖書翻訳委員社中と合同し「聖書翻訳出版常置委員会」を組織し訳業に着手した。翻訳はヘボン、ファイソン、フルベッキが中心となり、1882年から分冊で出版し、1887年に全部が完成した。ヘボンは新約、旧約を通じて20余年間献身的に働いた。旧新約聖書の完成は日本の思想史、文化史上の金字塔である。



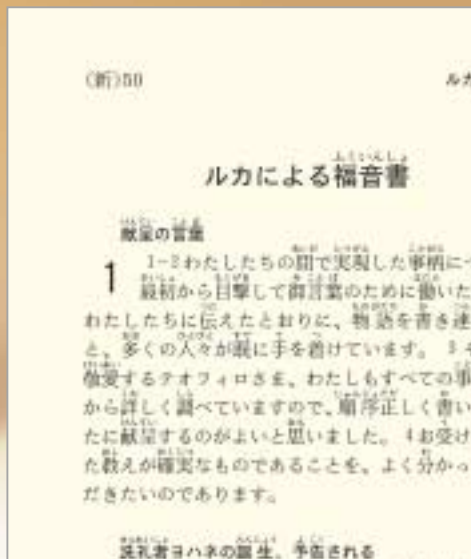


はじめてよう、聖書通読！

いつでも どこでも 読みやすい!!

新共同訳 大型ハンディバイブル

2001年
11月中旬
発行



▲ 内容見本 原寸大

- 厚さはB6判ハンディバイブルとほぼ同じでひとまわり大きな活字を使用
- 読みたいところがすぐひらくインデックスつき

仕様

A5判・横組み・クロス装

本体価格

大型ハンディバイブル 3,400円
大型ハンディバイブル 旧約聖書続編つき 3,700円

読みたいところが、すぐひらく!!

新共同訳 インデックスつき聖書



好評
発売中
!

書名 新共同訳
インデックスつき聖書
旧約聖書 続編つき
目録番号 NI 54 DCIX
本体価格 4,600円
サイズ B6判
装丁 ビニールクロス装

書名 新共同訳 インデックスつき聖書
目録番号 NI 54 IX
本体価格 4,000円
サイズ B6判
装丁 ビニールクロス装

- ご注文はお近くのキリスト教専門書店、または全国の書店へ（直接当協会にご注文戴く場合、別途荷造送料がかかります）
- カタログ請求、お問い合わせは右記まで

2001年5月1日発行

小型 和英対照新約聖書

大好評の和英対照新約聖書にコンパクト版が登場!

旅行や通勤・通学時にも便利です



好評
発売中
!

書名 小型和英対照
新約聖書
目録番号 NITEV 234DI
サイズ A6判(文庫本大)

和文 新共同訳
英文 Today's
English
Version (ed.2)
本体価格 1,400円

財団法人
日本聖書協会
JBS JAPAN BIBLE SOCIETY

頒布部

TEL 03-3567-1987 FAX 03-3567-4451

ホームページ
<http://www.bible.or.jp>



この雑誌は
エコマーク認定の
再生紙を
使用しています

SOWER
ソア No.19

2001年12月1日発行
[5月・12月の年2回発行]

発行・財団法人 日本聖書協会
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目-5-1
電話 03-3567-1988 振替 00160-2-18410